

厚生労働省岩手労働局発表
令和6年7月18日（木）

【照会先】

岩手労働局労働基準部健康安全課
課長 漣 磯 寿
課長補佐 藤 元 佳 能
（電話） 019-604-3007

令和6年1月～6月分の労働災害発生状況
（速報値）を公表します

～死傷者数は前年同期比で約17%の減少～

岩手労働局（局長 あわむら 栗村 かつゆき 勝行）は、令和6年1月～6月の県内の全業種における労働災害による死傷者数（休業4日以上）と死亡者数の状況を取りまとめました。

※令和6年発生分集計から新型コロナウイルス感染症による死傷者数を分けて公表しています。

1 令和6年1月～6月の死傷者数（6月末現在の速報値）は540人で、前年同期比で109人（16.8%）の減少、死亡者数は5人で前年同期比で2人の増加となっています。 *新型コロナウイルス感染症による死傷者を除く。

2 業種別の災害発生状況等の詳細については、別添のとおりとなっています。

令和6年1月から6月の労働災害は、前年同期比で約17%の減少となり、その中でも事故の型で最も多い転倒災害が前年同期比で約32%の減少となっているものの、転倒災害は全体の3割を占めることから、引き続き、転倒災害を含む労働者の作業行動に起因する労働災害の防止対策を積極的に推進してまいります。また、熱中症については、最も多く発生する8月を迎えることから、「STOP！熱中症クールワークキャンペーン」の積極的な展開により、引き続き、熱中症予防の取組の徹底を呼び掛けてまいります。

I 令和6年（1月～6月）の労働災害発生状況（令和6年6月末現在の速報値）

1 死傷災害（休業4日以上）【表1】（P. 3）、【グラフ1】、【グラフ2】（P. 5）、【参考3】（P. 10）

（1）全業種合計

全業種合計の死傷者数は540人で、前年同期比で109人（16.8%）の減少となっています。

（2）業種別の状況[大分類]

① 前年同期比で増加数の多い順に、「農林業」32人（前年同期比+7人、+28.0%）、次いで、「畜産水産業」32人（同+5人、+18.5%）、「鉱業」3人（同+3人、-%）となっています。

② 前年同期比で同数が「貨物取扱」で2人となっています。

③ 前年同期比で減少数の多い順に、「商業」76人（前年同期比-24人、-24.0%）、「製造業」108人（同-20人、-15.6%）と「建設業」81人（同-20人、-19.8%）が同数、次いで、「保健衛生業」68人（同-18人、-20.9%）、「接客娯楽業」20人（同-16人、-44.4%）、「運輸交通業」56人（同-13人、-18.8%）、「通信業」4人（同-5人、-55.6%）となっています。

（3）事故の型別状況

全業種において、最も多い事故の型は「転倒」によるもので、162人（30.0%）となっています。次いで、「墜落・転落」76人（14.1%）、「動作の反動・無理な動作」60人（11.1%）、「はさまれ・巻き込まれ」59人（10.9%）、「激突」42人（7.8%）、「激突され」40人（7.4%）、「切れ・こすれ」30人（5.6%）、「交通事故（道路）」27人（5.0%）、「飛来・落下」18人（3.3%）となっています。

2 死亡災害【表2】、【表3】（P. 4）

（1）全業種合計

全業種合計の死亡者数は5人で、前年同期と比べ2人の増加となっています。

（2）業種別の状況

業種は、「建設業」が4人、「林業」が1人となっています。

3 新型コロナウイルス感染症による労働災害【別表】（P. 11）

新型コロナウイルス感染症による労働災害は182人で、前年同期比で10人（5.8%）の増加となっています。

II 令和6年上半期の労働災害発生状況の分析

(1) 全業種について【グラフ3】(P. 6)

全業種の休業4日以上の労働災害を平成29年以降各年6月末の速報値でみると、500人台の後半から600人台前半で推移していましたが、令和3年以降2年連続で増加し、令和5年以降は2年連続して減少して令和6年は500人台となっています。

(2) 主要業種の災害発生状況について【グラフ4】(P. 6)

主要業種の休業4日以上の労働災害を平成29年以降各年6月末の速報値でみると、「製造業」は令和5年以降、2年連続の減少、「建設業」は令和4年以降、3年連続の減少、「道路貨物運送業」は、令和5年以降、2年連続の減少、「林業」は令和3年以降の横ばい傾向から令和6年は増加、「小売業」は横ばい傾向から令和6年は減少、「社会福祉施設」は令和3年以降3年連続して増加しましたが、令和6年は減少しています。

(3) 転倒災害の発生状況について【グラフ5】、【グラフ6】(P. 7)

転倒災害は、「製造業」で26人(24.1%)、「道路貨物運送業」で12人(24.5%)、「小売業」で32人(55.2%)、「社会福祉施設」で23人(46.9%)となっており、これら4業種における事故の型別の発生状況で最も多くなりました。

また、全業種の年代別では60代で最も多くなっており、50代以上でみると、転倒災害全体の約8割を占めています。

Ⅲ 令和6年1月～6月の労働災害発生状況を踏まえた取組みについて

令和6年1月から6月の労働災害は、前年同期比で約17%の減少となり、その中でも事故の型で最も多い転倒災害が前年同期比で約32%の減少となっているものの、転倒災害は全体の3割を占めることから、引き続き、転倒災害を含む労働者の作業行動に起因する労働災害の防止対策を積極的に推進してまいります。また、熱中症については、最も多く発生する8月を迎えることから、「STOP! 熱中症クールワークキャンペーン」の積極的な展開により、引き続き、熱中症予防の取組の徹底を呼び掛けてまいります。

STOP! 熱中症
クールワークキャンペーン

準備	キャンペーン期間				
4月	5月	6月	7月	8月	9月
			重点取組		

【表1】

令和6年 労働災害発生状況（休業4日以上の死傷者数）

令和6年6月

岩手労働局

業種	岩手局			盛岡署	宮古署	釜石署	花巻署	一関署	大船渡署	二戸署	
	令和6年	令和5年	増減数 増減率								
製造業	食品	16 (5)	7 (3)	9 (3)	1 (1)	1 (1)	4 (2)	1	8 (1)	1	
	水産食料品	23 (9)	54 (19)	-31 (19)	12 (3)	1 (1)		2 (2)	5 (2)	3 (1)	
	上記以外の食料品	3 (1)	4 (1)	-1 (1)	1	1 (1)	1 (1)	1			
	繊維・衣服その他繊維製品	9 (1)	10 (1)	-1 (1)		4 (1)	2	3		3	
	木材・木製品、家具・装備品	4	2	2				5		1	
	パルプ・紙、印刷・製本	6	5 (2)	1				3		3	
	化学工業	13	3 (1)	10		1	1	3	4	1	
	窯業土石		6 (2)	-6							
	鉄鋼業、非鉄金属	10 (2)	6 (1)	4	1 (1)	2		5	2 (1)		
	金属製品	8 (1)	11 (2)	-3	1			6 (1)		1	
	一般機械器具	5 (3)	9 (6)	-4		2 (2)		3 (1)			
	電気機械器具	3 (1)	6 (3)	-3			1 (1)	1	1		
	輸送用機械製造	1		1						1	
	電気・ガス	7 (3)	5 (4)	2	2 (1)			1	1 (1)	2 (1)	
	その他の製造	108 (26)	128 (45)	-20	18 (6)	11 (5)	9 (4)	31 (4)	13 (4)	11 (1)	15 (2)
小計	3 (1)		3				3 (1)				
鉱業	③	28 (2)	①	7 (2)	6	①	②	4		4	
土木工事	①	5	-15	1			1		1	①	
鉄骨・鉄筋家屋	14 (2)	15 (2)	-1	5			2 (1)	3 (1)	2	2	
木造家屋	15 (3)	16 (2)	-1	4	2		5 (2)	2	2	2 (1)	
その他の建築工事	19 (1)	15 (3)	4	5 (1)		2	4	4	3	1	
その他の建設	④	81 (8)	①	22 (3)	8	①	②	13 (1)	6	①	
小計	49 (12)	61 (13)	-12	19 (2)	1	1 (1)	14 (3)	4 (1)	2	8 (5)	
運輸	7 (3)	8 (6)	-1	3 (1)			2	1 (1)		1 (1)	
道路貨物運送業	2	2 (2)	0	1			1				
その他の運輸交通業	5 (2)	6	-1	2 (2)	1		1	1			
貨物取扱	①	27 (4)	8	4 (1)	2	7	1	1 (1)	1 (1)	①	
農業	28 (3)	23 (4)	5	15 (3)		2	3	3		5	
林業	4	4	0		2				2		
畜産	58 (32)	①	78 (42)	27 (14)		4 (2)	15 (10)	5 (2)	1 (1)	6 (3)	
水産業	18 (5)	22 (9)	-4	6 (2)	2	1 (1)	5 (1)	1	1	2 (1)	
小売業	4	9 (5)	-5				2	2			
その他の商業	49 (23)	66 (28)	-17	19 (11)		6 (3)	5 (3)	8 (5)	5	6 (1)	
社会福祉施設	19 (10)	20 (16)	-1	11 (7)		1	5 (1)	1 (1)	1 (1)		
保健	7 (5)	9 (2)	-2	2 (2)	1		2 (2)			2 (1)	
衛生業	11	16 (7)	-5	6	1		3			1	
旅館業	2 (1)	11 (4)	-9	2 (1)							
飲食店	18 (13)	16 (11)	2	11 (9)			6 (4)	1			
娯楽業	40 (14)	①	50 (23)	17 (5)		3 (3)	8 (1)	3 (2)	2	7 (3)	
接客	⑤	540 (162)	③	185 (69)	29 (5)	①	②	57 (17)	32 (4)	②	
娯楽業			-109	238 (89)	22 (4)	30 (13)	②	80 (31)	37 (13)	60 (15)	
その他				-53	7	7	-57	-23	-5	15	
合計				-22.3%	31.8%	23.3%	-31.3%	-28.8%	-13.5%	25.0%	
前年同期増減数											
前年同期増減率											

(注) 令和6年は令和6年6月末の速報値、令和5年は令和5年6月末の速報値です。

○内は死亡者数(内数)です。()内は転倒災害者数(内数)です。

新型コロナウイルス感染症による死傷者を除く。

【表2】

令和6年 死亡災害発生状況（令和6年6月末日現在）

岩手労働局

番号	署別	業種	発生日	曜日	性別	年齢 (経験期間)	事故の型	起因物	災害発生の概要
1	釜石	建設業 (橋梁建設工事業)	1月	金	男	60歳代 (10年以上 20年未満)	墜落、転落	建築物、構 築物	橋梁補修工事において、被災者が型枠工事の支障となる切り株を除去する作業を行っていたところ、約4mの高さの橋のたもとから河川敷に墜落し、死亡したものの。
2	二戸	建設業 (鉄骨・鉄筋コンク リート造家屋建築 工事業)	1月	土	男	40歳代 (10年以上 20年未満)	交通事故 (道路)	乗用車、バ ス、バイク	被災者が野田村の建設現場から宮城県内の事業場に帰社するため三陸道上り線を運転中、中央分離帯のガードレールに衝突し、死亡したものの。
3	花巻	建設業 (道路建設工事業)	5月	木	男	60歳代 (1年以上10 年未満)	飛来、落下	立木等	工事現場で立木の伐採中、伐倒した立木にツルが絡まっており、倒れる勢いで他の立木も引っ張られ、折れて飛んできた立木の一部が被災者の頭部を直撃し、死亡したものの。
4	花巻	建設業 (橋梁建設工事業)	5月	木	男	50歳代 (1年以上10 年未満)	はさまれ、 巻き込まれ	高所作業車	橋梁の補修作業中、高所作業車の作業床に被災者と同僚の2名が搭乗し、同僚が前方でアームを伸ばしながら上昇させていたところ、同僚の後方にいた被災者がコンクリート桁と高所作業車の作業床の手すりの間にはさまれ、死亡したものの。
5	二戸	農林業 (その他の林業)	6月	金	男	40歳代 (10年以上 20年未満)	激突され	立木等	チェーンソーによりアカマツの伐倒作業を行っていた被災者が、伐倒木の横に倒れている状態で発見されたものの。

【表3】

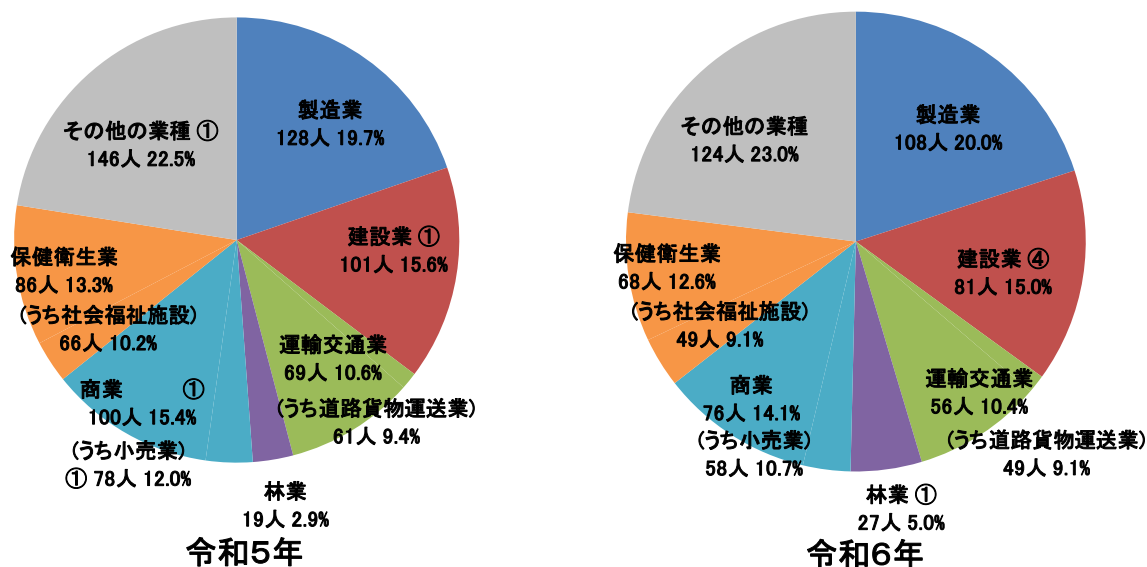
令和6年 死亡災害発生状況（事故の型別等）

(令和6年6月末日現在)

業種別	製造業 0人 (0人)	鉱業 0人 (0人)	建設業 4人 (1人)	運輸交通業 0人 (0人)	林業 1人 (0人)	商業 0人 (1人)	左記以外 0人 (1人)	5人 (前年同期3人)
監督署別	盛岡 0人 (1人)	宮古 0人 (0人)	釜石 1人 (0人)	花巻 2人 (2人)	一関 0人 (0人)	大船渡 0人 (0人)	二戸 2人 (0人)	
事故の型別	墜落・転落 1人 (1人)	転倒 0人 (0人)	飛来・落下 1人 (0人)	崩壊・倒壊 0人 (0人)	激突され 1人 (1人)	はさまれ・ 巻き込まれ 1人 (1人)	切れ・こすれ 0人 (0人)	
	破裂 0人 (0人)	高温の物との 接触 0人 (0人)	激突 0人 (0人)	感電 0人 (0人)	有害物等との 接触 0人 (0人)	交通事故 (道路) 1人 (0人)	その他 0人 (0人)	

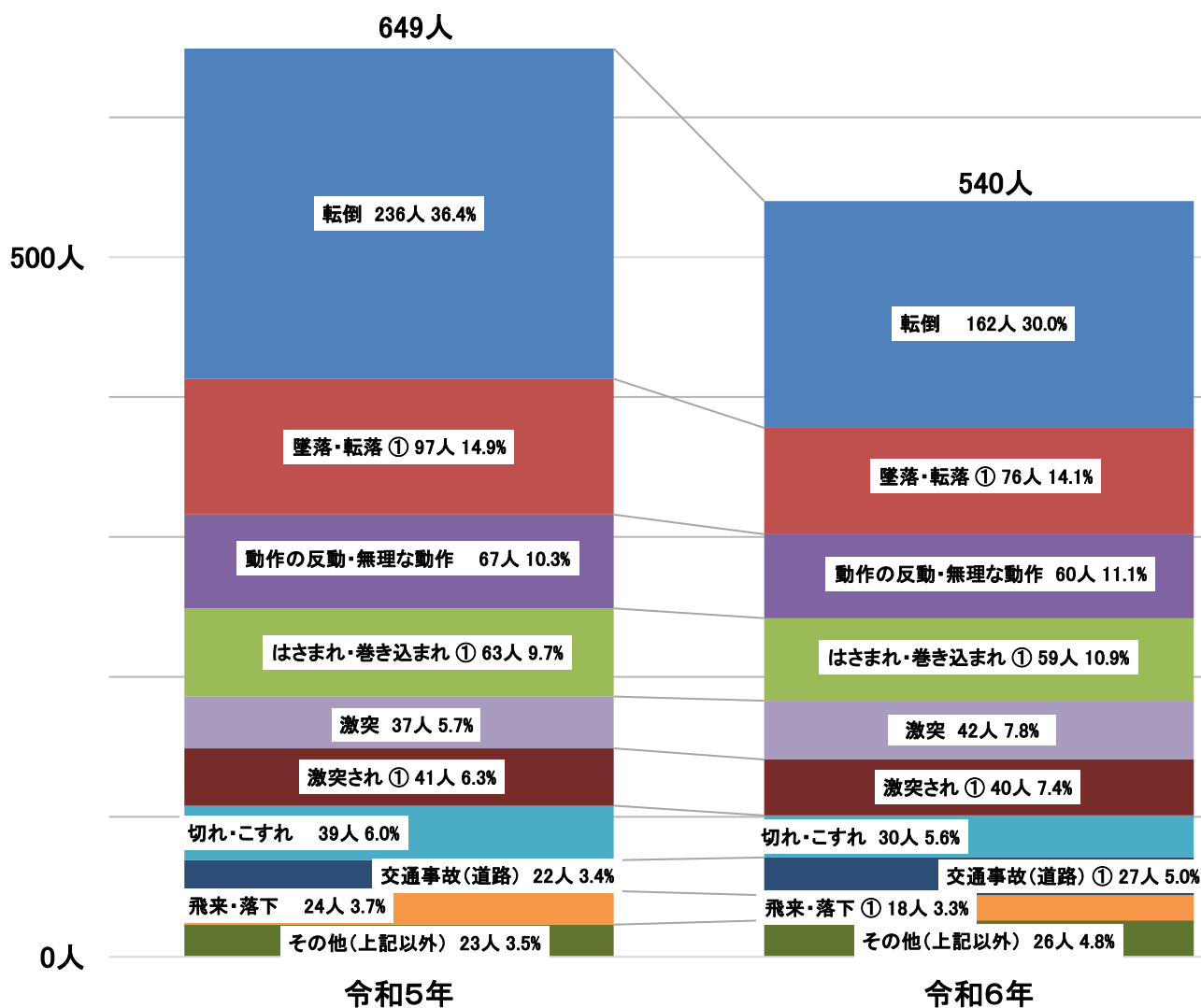
注：（ ）内は前年同期

【グラフ1】 令和5年・令和6年 業種別労働災害発生状況[1月～6月]*



* 令和6年は令和6年6月末の速報値、令和5年は令和5年6月末の速報値

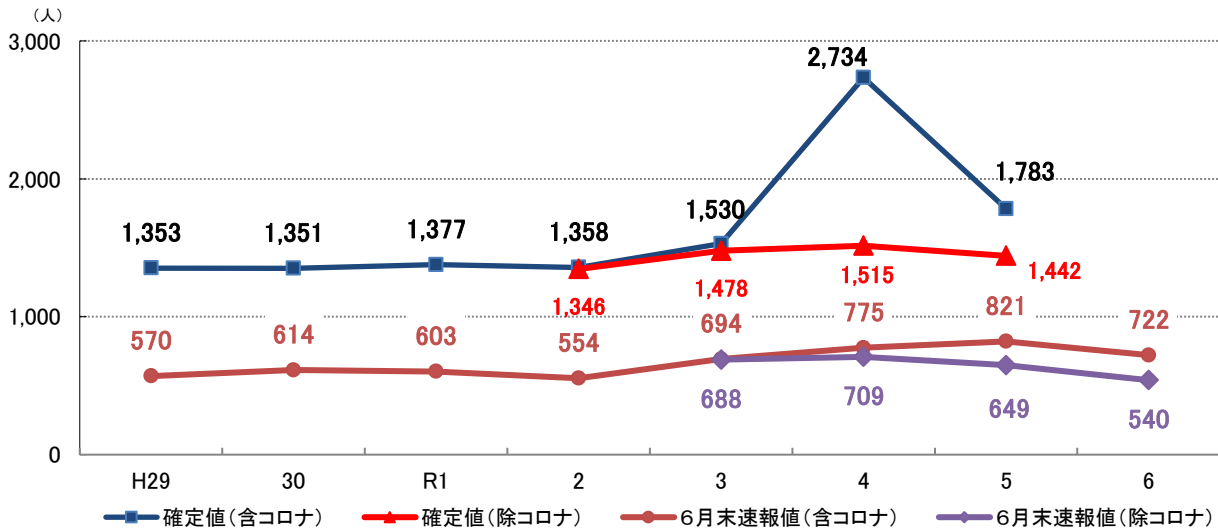
【グラフ2】 令和5年・令和6年 事故の型別労働災害発生状況[1月～6月]*



* 令和6年は令和6年6月末の速報値、令和5年は令和5年6月末の速報値

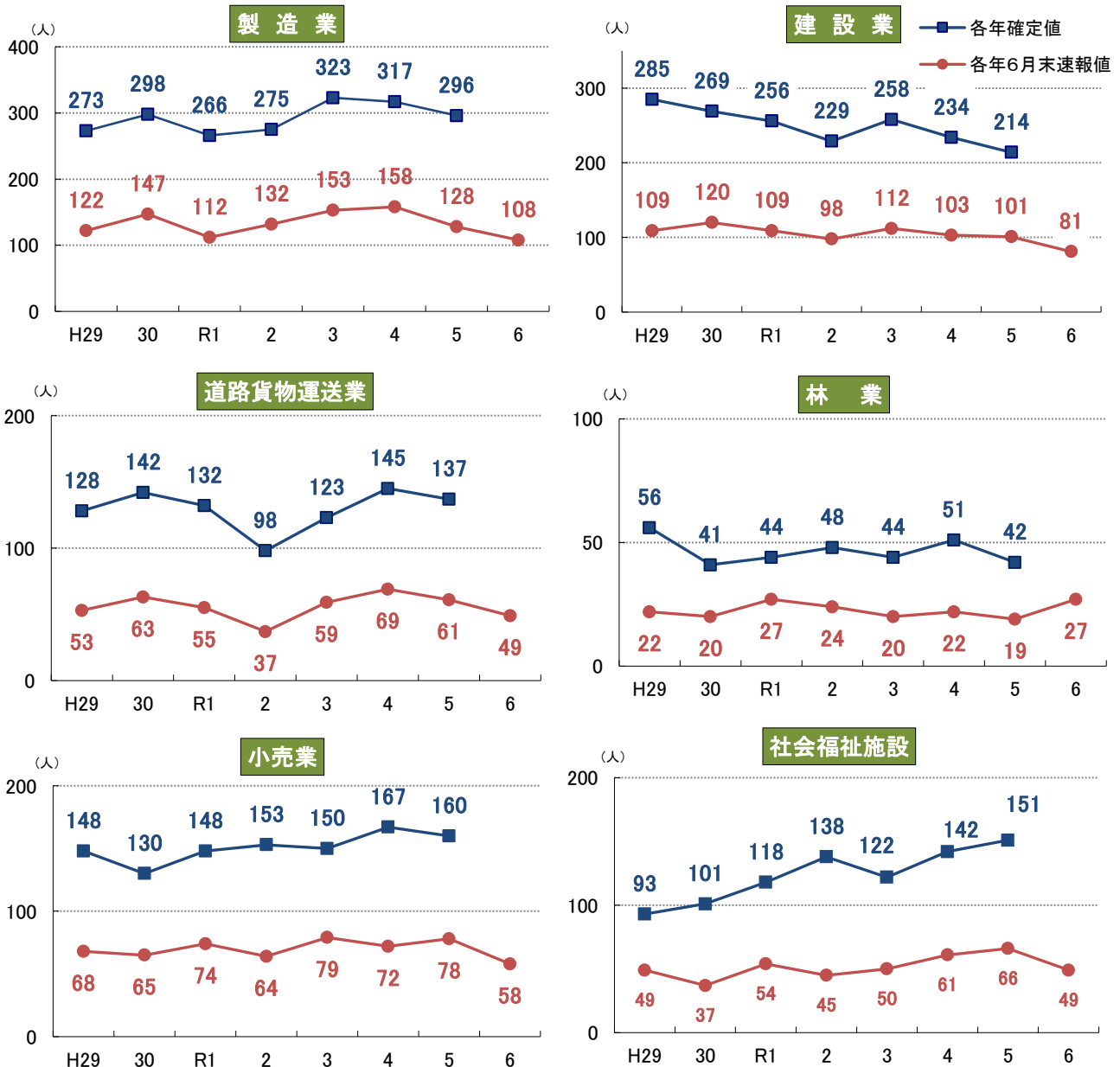
○内は死亡者数(内数)です。

【グラフ3】災害発生状況の推移 [確定値、各年6月末速報値]



【グラフ4】主要業種の災害発生状況の推移* [確定値、各年6月末速報値]

*新型コロナウイルス感染症による死傷者を除く。



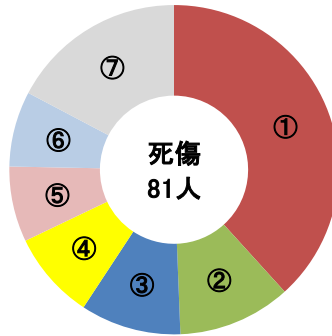
【グラフ5】主要業種の事故の型別発生状況* [6月末速報値] *新型コロナウイルス感染症による死傷者を除く。

製造業



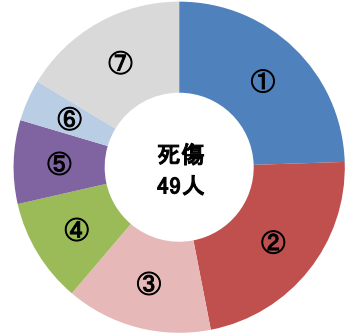
① 転倒	26人	24.1%
② はさまれ、巻き込まれ	26人	24.1%
③ 動作の反動、無理な動作	13人	12.0%
④ 墜落、転落	10人	9.3%
⑤ 激突され	9人	8.3%
⑥ 切れ、こすれ	8人	7.4%
⑦ その他(上記以外)	16人	14.8%

建設業



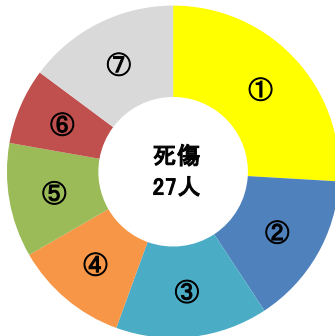
① 墜落、転落	31人	38.3%
② はさまれ、巻き込まれ	9人	11.1%
③ 転倒	8人	9.9%
④ 激突され	7人	8.6%
⑤ 激突	6人	7.4%
⑥ 交通事故(道路)	6人	7.4%
⑦ その他(上記以外)	14人	17.3%

道路貨物運送業



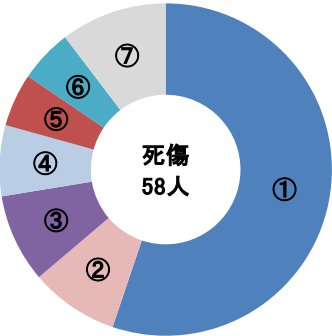
① 転倒	12人	24.5%
② 墜落、転落	11人	22.4%
③ 激突	7人	14.3%
④ はさまれ、巻き込まれ	5人	10.2%
⑤ 動作の反動、無理な動作	4人	8.2%
⑥ 交通事故(道路)	2人	4.1%
⑦ その他(上記以外)	8人	16.3%

林業



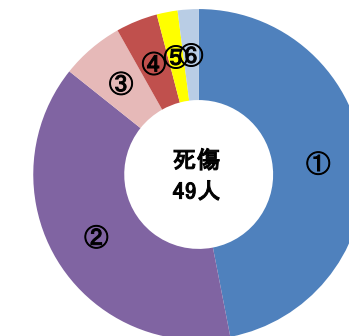
① 激突され	7人	25.9%
② 転倒	4人	14.8%
③ 切れ、こすれ	4人	14.8%
④ 飛来、落下	3人	11.1%
⑤ はさまれ、巻き込まれ	3人	11.1%
⑥ 墜落、転落	2人	7.4%
⑦ その他(上記以外)	4人	14.8%

小売業



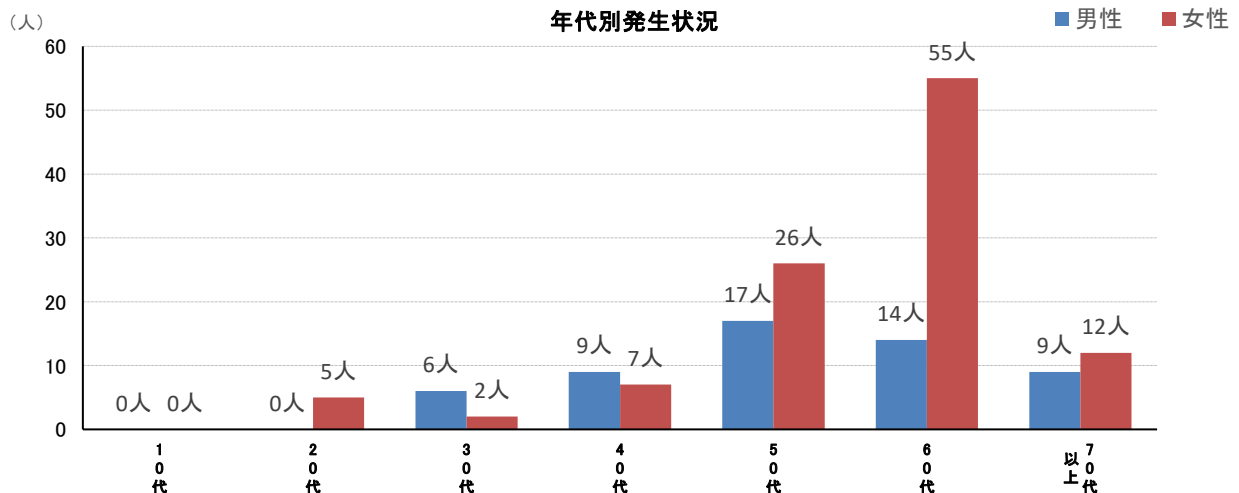
① 転倒	32人	55.2%
② 激突	5人	8.6%
③ 動作の反動、無理な動作	5人	8.6%
④ 交通事故(道路)	4人	6.9%
⑤ 墜落、転落	3人	5.2%
⑥ 切れ、こすれ	3人	5.2%
⑦ その他(上記以外)	6人	10.3%

社会福祉施設



① 転倒	23人	46.9%
② 動作の反動、無理な動作	19人	38.8%
③ 激突	3人	6.1%
④ 墜落、転落	2人	4.1%
⑤ 激突され	1人	2.0%
⑥ 交通事故(道路)	1人	2.0%

【グラフ6】全業種の年代別転倒災害発生状況 [6月末速報値]



【参考1】

令和6年6月

令和6年 労働災害発生状況（休業4日以上之死傷者数） [月別発生状況]

岩手労働局

業種	当年累計	前年同期	対前年同期													
			増減数	増減率	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
製造業	食品	16 (6)	7 (3)	9	128.6%	2 (1)		3 (1)	2 (1)	1 (1)	8 (1)					
	水産食料品	23 (9)	54 (19)	-31	-57.4%	4 (3)	6 (3)	5 (2)	2	3	3 (1)					
	上記以外の食料品	3 (1)	4 (1)	-1	-25.0%	2 (1)		1								
	繊維・衣服その他繊維製品	9 (1)	10 (1)	-1	-10.0%	3 (1)	2	1	3 (1)	1						
	木材・木製品、家具・装備品	4	2	2	100.0%	1	1	1		1						
	パルプ・紙、印刷・製本	6	5 (2)	1	20.0%	1	1	1	1	2						
	化学工業	13	3 (1)	10	333.3%	1	4	1	2	1	4					
	窯業土石	10 (2)	6 (2)	4	66.7%	2 (2)	2	1	2	3						
	鉄鋼業、非鉄金属	8 (1)	11 (2)	-3	-27.3%	1	1	2 (1)	2	1	1					
	金属製品	5 (3)	9 (6)	-4	-44.4%	1	1	2 (2)	1	2	2 (1)					
建設業	一般機械器具	3 (1)	6 (3)	-3	-50.0%	1		1 (1)	1							
	電気機械器具	1		1		1										
	輸送用機械製造	7 (3)	5 (4)	2	40.0%	1		4 (2)	1 (1)	1	1					
	電気・ガス	108 (26)	128 (45)	-20	-15.6%	20 (7)	17 (3)	22 (9)	17 (3)	15 (2)	17 (2)					
	その他の製造	3 (1)	(1)	3		1		1 (1)	1							
	土木工事	28 (2)	35 (4)	-7	-20.0%	6	7 (1)	2	7	2	5 (1)	1				
	鉄骨・鉄筋家屋	5	20 (4)	-15	-75.0%	2		1	1	1						
	建築工事	14 (2)	15 (2)	-1	-6.7%	4 (2)	2	2	4	2						
	その他の建築工事	15 (3)	16 (2)	-1	-6.3%	1 (1)	2 (1)	3 (1)	6	2	1					
	その他の建設	19 (1)	15 (3)	4	26.7%	2 (1)	3	3	3	6	2					
運輸交通業	小計	81 (8)	101 (15)	-20	-19.8%	15 (4)	14 (2)	11 (1)	21	16 (1)	4					
	道路貨物運送業	49 (12)	61 (13)	-12	-19.7%	13 (5)	10 (4)	7	7 (1)	5 (1)	7 (1)					
	その他の運輸交通業	7 (3)	8 (6)	-1	-12.5%	1 (1)	5 (2)			1						
	貨物取扱	2	2 (2)	0	0.0%		1	1								
	農業	5 (2)	6	-1	-16.7%	1 (1)	2	2 (1)								
	林業	27 (4)	19 (4)	8	42.1%	4 (1)	5	5	3 (1)	7 (2)	3					
	畜産業	28 (3)	23 (4)	5	21.7%	7	7 (1)	3	5 (1)	3	3 (1)					
	水産業	4	4	0	0.0%	1	1	1		1						
	小売業	58 (32)	78 (42)	-20	-25.6%	14 (10)	14 (11)	12 (8)	4	14 (3)						
	商業	その他の商業	18 (5)	22 (9)	-4	-18.2%	3	3 (2)	3 (1)	5 (2)	2	2				
通信業		4	9 (5)	-5	-55.6%	2		1	1							
社会福祉施設		49 (23)	66 (28)	-17	-25.8%	13 (6)	7 (3)	11 (6)	8 (4)	8 (3)	2 (1)					
その他の保健衛生業		19 (10)	20 (16)	-1	-5.0%	9 (6)	3	4 (3)	1	2 (2)						
旅館業		7 (6)	9 (2)	-2	-22.2%		3 (3)		1	3 (2)						
飲食店		11	16 (7)	-5	-31.3%	2		3	4	1	1					
その他の接客娯楽業		2 (1)	11 (4)	-9	-81.8%				1 (1)							
ビルメンテナンス業		18 (13)	16 (11)	2	12.5%	6 (5)	2	2 (1)	3 (3)	4 (3)	1 (1)					
その他(上記以外の全ての業種)		40 (14)	50 (23)	-10	-20.0%	8 (4)	6 (2)	5 (2)	11 (5)	7 (1)	3					
合計		540 (162)	649 (236)	-109	-16.8%	120 (49)	100 (33)	94 (33)	93 (21)	89 (20)	44 (6)					

(注) 当年累計は令和6年6月末の速報値、前年同期は令和5年6月末の速報値です。
 ○内は死亡者数(内数)です。()内は転倒災害者数(内数)です。
 新型コロナウイルス感染症による死傷者を除く。

【参考2】

令和6年6月

令和6年 労働災害発生状況（休業4日以上之死傷者数） [年齢別発生状況]

岩手労働局

業種	当年累計	年齢別発生状況														
		19歳以下	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上		
製造業	食料品	1	2	1	2 (1)	1	1	3 (2)		1				2 (1)	2 (1)	
	水産食料品															
	上記以外の食料品				1		2 (1)	2	2	7 (3)	3 (2)			3 (2)	2 (1)	
	繊維・衣服その他繊維製品								1							
	木材・木製品、家具・装備品								1	2	1 (1)			2	1	
	パルプ・紙、印刷・製本			1					1						1	
	化学工業		1	1					1							
	窯業土石															
	鉄鋼業、非鉄金属															
	金属製品	10 (2)		2		1	1		1	2 (1)					2	1 (1)
	一般機械器具	8 (1)		1		1	2		3		1 (1)					
	電気機械器具	5 (3)				2 (2)				1	1 (1)					
	輸送用機械製造	3 (1)			1										1 (1)	
電気・ガス	1				1											
その他の製造	7 (3)		1 (1)		2 (1)			3 (1)	1							
小計	108 (26)	1	7 (1)	4	12 (4)	8	7 (1)	15 (3)	11	16 (5)	10 (5)	7 (2)	6 (3)	4 (2)		
鉱業	3 (1)					1			1 (1)					1		
土木工事	28 (2)			1	1		1	1	3	① 5	3 (1)	② 9 (1)	2	2		
鉄骨・鉄筋家屋	① 5	1			1			① 1		1						
建築工事	14 (2)		1			1	1	1 (1)	1	2	2	4 (1)	1			
木造家屋	15 (3)		1 (1)	2				5		4 (1)	1		2 (1)			
その他の建築工事	19 (1)			2	1	2	2	2	2	2	3	2 (1)	1			
その他の建設	81 (8)	1	2 (1)	5	3	3	4	① 10	6 (1)	① 14 (1)	9 (1)	② 16 (3)	5 (1)	3		
小計	49 (12)			1 (1)		4 (2)	3	10 (2)	10 (3)	8 (2)	7 (2)	4	2			
道路貨物運送業	7 (3)								3 (1)	2 (2)	1					
その他の運輸交通業	2								1	1						
貨物取扱	5 (2)								1	1						
農業	27 (4)			1	2	5 (1)	3	① 6	1	2	1 (1)	1	4 (1)	1 (1)		
林業	28 (3)		1	2	3	1	4	2 (1)	5 (1)	2	4	3 (1)		1		
畜産業	4				1				1					1		
水産業	58 (32)	1	3	1	2	3		5 (2)	3 (2)	10 (8)	16 (11)	8 (7)	4 (1)	2 (1)		
小売業	18 (5)			2		2		2	2 (1)	4 (2)	4 (1)	2 (1)				
その他の商業	4			1			1		1	1						
通信業	49 (23)	1	7 (2)	1	1	2	7 (3)	2 (1)	4 (1)	7 (5)	9 (5)	8 (6)				
社会福祉施設	19 (10)			1		2 (1)	1	3 (1)		4 (3)	3 (2)	4 (3)		1		
その他の保健衛生業	7 (5)									1	2 (2)	1 (1)	2 (1)	1 (1)		
旅館業	11	1	2	1	1			2			2		1			
飲食店	2 (1)										1					
その他の接客娯楽業	18 (13)	1					1			1 (1)	4 (3)	3 (3)	7 (5)	1 (1)		
ビルメンテナンス業	40 (14)		1	2		1	4 (1)	5 (1)	6 (2)	7 (1)	10 (6)	2 (1)	1 (1)	1 (1)		
その他(上記以外の全ての業種)	540 (162)	6	23 (4)	22 (1)	25 (4)	33 (4)	35 (5)	② 65 (11)	53 (13)	① 81 (30)	87 (40)	② 61 (29)	33 (14)	16 (7)		
合計																

(注) 当年累計は令和6年6月末の速報値です。

○内は死亡者数(内数)です。()内は転倒災害者数(内数)です。

新型コロナウイルス感染症による死傷者を除く。

令和6年 主要業種における事故の型別労働災害発生状況(休業4日以上の死傷者数)

令和6年(令和6年6月末の速報値)

	墜落・転落	転倒	激突	飛来・落下	崩壊・倒壊	激突され	はさまれ・巻き込まれ	切れ・こすれ	踏み抜き	おぼれ	高温・低温の物との接触	有害物等との接触	感電	爆発	破裂	火災	交通事故(道路)	交通事故(その他)	動作の反動・無理な動作	その他	分類不能	計
製造業	10	26	4	4	4	9	26	8	1	0	2	0	0	0	0	1	0	0	13	0	0	108
建設業	31	8	6	5	1	7	9	4	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	4	0	0	81
道路貨物運送業	11	12	7	1	3	3	5	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	0	4	0	0	49
林業	2	4	1	3	1	7	3	4	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	27
小売業	3	32	5	1	0	1	2	3	0	0	2	0	0	0	0	0	4	0	5	0	0	58
社会福祉施設	2	23	3	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	19	0	0	49
全産業	76	162	42	18	11	40	59	30	1	0	12	1	0	0	0	1	27	0	60	0	0	540
	14.1%	30.0%	7.8%	3.3%	2.0%	7.4%	10.9%	5.6%	0.2%	0.0%	2.2%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.2%	5.0%	0.0%	11.1%	0.0%	0.0%	100.0%

令和5年(令和5年6月末の速報値)

製造業	9	45	4	5	4	4	27	18	0	0	1	2	0	0	0	0	2	0	7	0	0	128
建設業	30	15	6	7	4	5	13	10	1	0	0	1	0	0	0	0	5	0	3	1	0	101
道路貨物運送業	21	13	4	4	0	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	7	0	0	61
林業	2	4	0	3	0	4	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	19
小売業	9	42	5	1	1	2	3	3	1	0	1	0	0	0	0	0	3	0	7	0	0	78
社会福祉施設	3	28	5	0	0	5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	21	1	0	66
全産業	97	236	37	24	9	41	63	39	2	0	5	4	0	0	0	0	22	0	67	3	0	649
	14.9%	36.4%	5.7%	3.7%	1.4%	6.3%	9.7%	6.0%	0.3%	0.0%	0.8%	0.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.4%	0.0%	10.3%	0.5%	0.0%	100.0%

<差分>

製造業	1	-19	0	-1	0	5	-1	-10	1	0	1	-2	0	0	0	1	-2	0	6	0	0	-20
建設業	1	-7	0	-2	-3	2	-4	-6	-1	0	0	-1	0	0	0	0	1	0	1	-1	0	-20
道路貨物運送業	-10	-1	3	-3	3	-1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	-2	0	-3	0	0	-12
林業	0	0	1	0	1	3	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	8
小売業	-6	-10	0	0	-1	-1	-1	0	-1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	-2	0	0	-20
社会福祉施設	-1	-5	-2	0	0	-4	-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-1	0	-2	-1	0	-17
全産業	-21	-74	5	-6	2	-1	-4	-9	-1	0	7	-3	0	0	0	1	5	0	-7	-3	0	-109

新型コロナウイルス感染症による死傷者を除く。

岩手労働局

令和6年6月 令和6年 新型コロナウイルス感染症へのり患による労働災害発生状況（休業4日以上の死傷者数）

岩手労働局

令和6年6月

業種	岩手局		増減率	増減数	盛岡署	宮古署	釜石署	花巻署	一関署	大船渡署	二戸署
	令和6年	令和5年									
製造業	食料品										
	水産食料品										
	上記以外の食料品	1		-1							
	繊維・衣服その他繊維製品										
	木材・木製品、家具・装備品										
	パルプ・紙、印刷・製本										
	化学工業										
	窯業土石										
	鉄鋼業、非鉄金属										
	金属製品										
造業	一般機械器具										
	電気機械器具										
	輸送用機械製造										
	電気・ガス										
	その他の製造										
	小計	1		-1							
	鉄業										
	土木工事										
	鉄骨・鉄筋家屋										
	建築										
木造家屋											
その他の建築工事											
その他の建設											
小計											
運輸											
道路貨物運送業		7		-7							
その他の運輸交通業											
貨物取扱	3			3						3	
農林業											
林業											
畜産業											
水産業											
小売業											
その他の商業											
通信業											
保健											
衛生業	109	80	36.3%	29	26	3	1	14	21	28	16
旅籠業	70	75	-6.7%	-5	9	8	28	1	3	21	
接客											
飲食店		1		-1							
娯楽業											
ビルメンテナンス業		1		-1							
その他(上記以外の全ての業種)		7		-7							
合計	182	172	5.8%	10	35	11	29	15	24	52	16
前年同期				86	86	12	2	18	17	10	27
増減数				-51	-51	-1	27	-3	7	42	-11
増減率				-59.3%	-59.3%	-8.3%	1350.0%	-16.7%	41.2%	420.0%	-40.7%

(注) 令和6年は令和6年6月末の速報値、令和5年は令和5年6月末の速報値です。

○内は死亡者数(内数)です。